

# 中津卓球ジムだより

第51号 2018年10月10日(水)

発行

中津卓球ジム 代表 宇土省三

TEL (0979) 31-7098

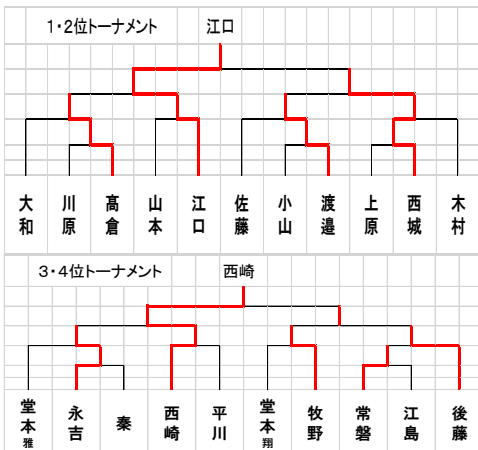
## 9月月例会

### 江口さん優勝 もう止められない!?

#### 平川クラブから6人参戦

9月23日、久しぶり大分市から平川卓球クラブの6人の方々にも参戦、21人の参加者を得て、9月の月例会を開催しました。

前回に引き続いて、だれが江口さんの連勝を食い止めるかも今回の月例会の関心事でもありましたが、終わってみるとまたもや江口さんの優勝に終わりました。平川卓球クラブの実力者大和さんに打倒江口さんの期待がかりましたが、高倉さんに阻まれ、対戦まで至りませんでした。次回再び「出てこいヒーロー!」と叫ばなければなりません。



## 竹上君9勝6敗で6位

～アスリートパスウェイ九州合宿～

9月28日から2日間中間市で開催されたアスリートパスウェイ九州合宿に竹上遥斗君(4年生)が大分県代表として参加しました。



各県の代表それぞれ2人ずつ、合計16人で中央合宿(東京)への3つのイスを争っての戦いでしたが、あと一歩及ばず、6位という結果でした。

竹上君の卓球歴はちょうど2年という浅い経験ながら、1位になった選手とも互角の戦いをしているだけに力のあることを証明。今後は技術面だけでなく、メンタル面の強化をしっかりと図って全国で戦える選手に成長してほしいものです。



快進撃はどこまで続く!?今回も優勝の江口泰慎さん



大健闘の山口彩実さん

全日本ジュニア県予選  
山口さん第一シード破り4位

9月17日に杵築市文化体育館で開催された全日本ジュニア(高校生以下)県予選に出場した山口彩実さんが、4位に食い込みました。

決勝リーグ進出をかけたトーナメント戦では第一シードの明豊高校篠田選手を破るなど大活躍。決勝リーグでは善戦するも4位となり代表権は獲得できませんでしたが、高校生を次々破つてのベスト4は立派な成績です。

### 南極生活でたくまじい人びと

今回は作家五木寛之の本に書かれていた話を紹介します。南極で生活する探検隊の人たちの話です。

南極などの極地では、長い間テントの中で来る日も来る日も風と氷と雪の中でじつと我慢して待たなければならぬときがあるそうです。

そういうときにどういうタイプの人が一番辛抱強く最後まで自分を見失わずに耐えられるかということを書いています。南極でテント生活をしていると無精(ぶしよう)になり、身なりなどの体裁(ていさい)を構わなくなりがち。そんな中、毎朝服装を整え、顔を合わせると「おはよう」というあいさつをし、ものを食べるときは「いただきます」といい、「ありがとう」が自然に言える人、いわゆる基本的な習慣が身につけている人が意外としぶとく、弱音を吐かないそうです。そんな人の方が頑強なクマのような大男よりもよっぽどたくましいそうです。

「基本的な生活習慣の大切さはわかっているけど・・・。」という親の声が聞こえてきそうです。



ウドちゃんの  
ちよんちよんはな  
<NO. 2>